

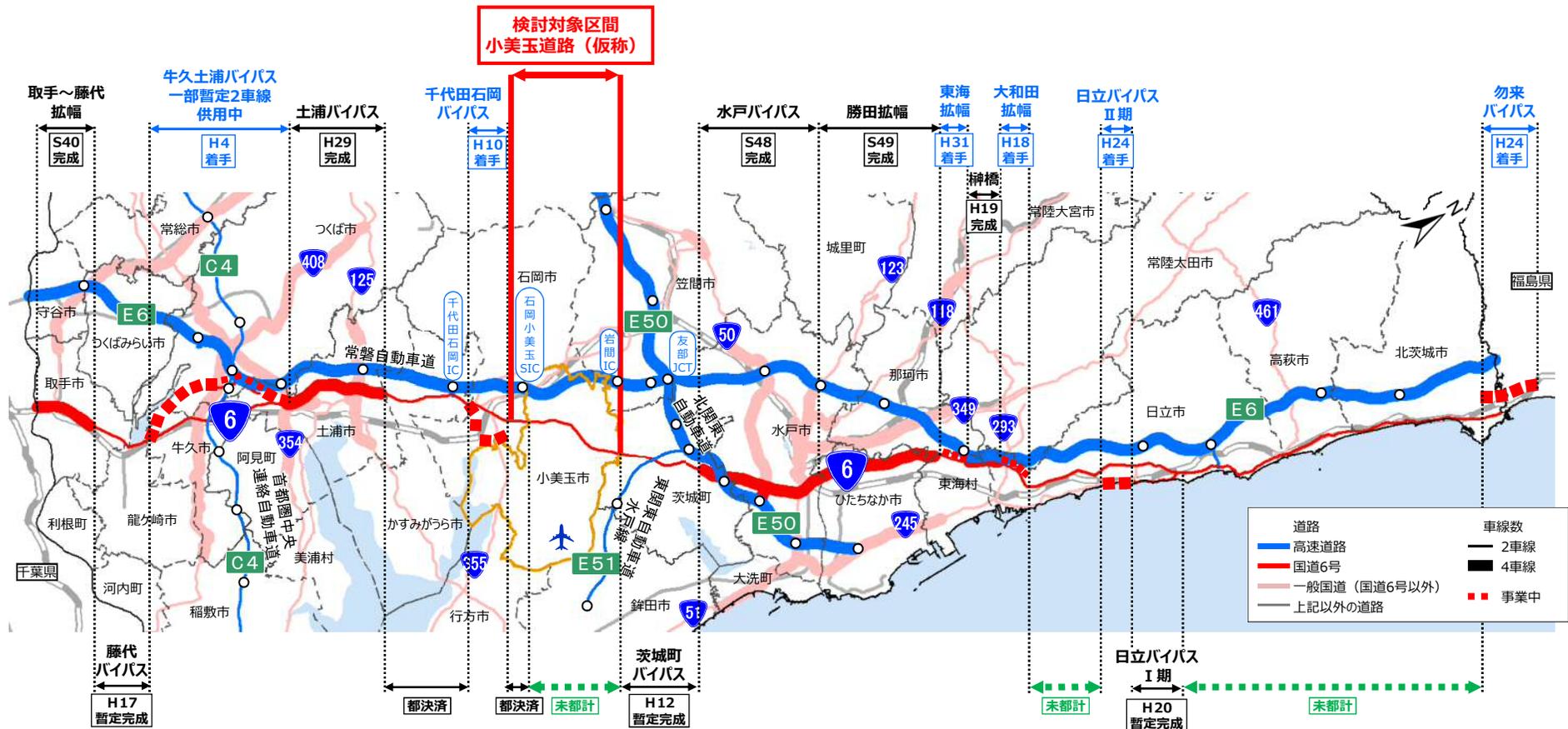
一般国道6号 小美玉道路(仮称)

1. 一般国道6号 小美玉道路(仮称)の位置図

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

1

- 国道6号は東京を起点とし、千葉・茨城・福島を経て宮城県に至る総延長359.3kmの南北の幹線道路。
- 茨城県内の国道6号では交通需要を勘案しつつ、現道拡幅整備事業やバイパス整備事業が実施されており、千葉県境の取手～藤代拡幅、土浦バイパス、水戸バイパス、勝田拡幅の区間では4車線となっており、牛久土浦バイパス、千代田石岡バイパス、東海拡幅、大和田拡幅、日立バイパスⅡ期、勿来バイパスは事業中となっている。
- 残る2車線区間のうち、未だ未都計で空港アクセス等の利用により需要拡大が想定される小美玉市内の区間が本検討の対象区間。



※都決済みは、事業を実施していない区間を対象に表示

2. 地域の状況

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

2

- 対象区間は国道6号の茨城県小美玉市内に位置する延長約10.0km区間である。
- 市内には首都圏第三の空港である茨城空港が立地。
- 田園都市として発展。首都圏の農産物の一大生産地でもあり、特に鶏卵(産出額全国1位)や生乳(県内1位)の生産が盛ん。

■国道6号広域図



茨城空港



小美玉市の鶏卵



小美玉市石川養鶏の鶏卵小美玉子
(茨城をたべよういばらき食と農のポータルサイト)

小美玉市の生乳



小美玉市の乳製品(小美玉市HP)

3. 上位計画の位置付け

- 一般国道6号 小美玉道路(仮称)は、県や市の上位計画に位置づけられている。
- 沿線市等からは生活利便性の向上、広域的な交流を推進を図る幹線道路の整備や茨城空港への円滑な輸送確保や緊急輸送道路ネットワークの整備が求められています。

茨城県の総合計画等

茨城県総合計画「新しいばらきへの挑戦」 (平成30年11月)

基本施策	項目(抜粋)
活力を生むインフラと住み続けたいまち	<p><未来の交通ネットワークの整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市地域間のネットワーク強化、観光地や空港などの拠点へのアクセス強化のため、筑西幹線道路や県北地域高規格道路など、広域的な幹線道路の整備を推進します。また、交通環境の変化に合わせ、交通管制システムにより制御できるエリアの見直しやICT等を活用した渋滞対策などを行い、交通の円滑化に努めます。

茨城県地域防災計画 (平成29年3月)

基本施策	項目(抜粋)
災害予防計画 被害軽減への備え	<p><緊急輸送への備え></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県内の道路や港湾及びヘリポート等を総合的に活用し、応急対策活動の拠点間を効率的に結ぶ緊急輸送道路ネットワークの整備を図っていく。

茨城県総合物流計画 (平成23年10月)

基本施策	項目(抜粋)
茨城空港の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 茨城空港への円滑な輸送を確保し、効率的な航空物流ネットワークの形成を図るため、アクセス道路となる空港関連道路の整備を促進します。

各市の総合計画等

「小美玉市」新市建設計画 変更計画 (平成26年12月)

基本施策	項目(抜粋)
便利でゆとりある快適なまち	<p><道路ネットワークの整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主要幹線道路の整備を促進するとともに、これらとネットワークする幹線道路や生活道路の整備に努め、住民の生活利便性の向上を図り、広域的な交流を推進します。

茨城町第6次総合計画 前期基本計画 (平成30年3月)

基本施策	項目(抜粋)
未来への生活基盤が整ったまち 道路・公共交通	<p><現状と課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国道については、本町を縦貫する主要な幹線道路として機能していますが、一部区間の拡幅が求められており、国に要請していく必要があります。 <p><主な施策></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 国・県道の整備促進 国道6号の4車線化、主要地方道大洗友部線の良をはじめとする県道の整備を、国・県に対して積極的に要請していきます。

4. 道路の現状と課題～交通渋滞～

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

- 対象区間は小美玉市街地を通過しており、交差点が連続している箇所も存在。
- 通過交通が多く流入(約80%)しており、2車線区間であるにもかかわらず交通量は約17,800台/日で、混雑度は1.44と高く容量超過により、堅倉中央では慢性的に速度が低下、中野谷中央では7時台で30km以下の速度低下が長い区間で発生している状況。

■位置図



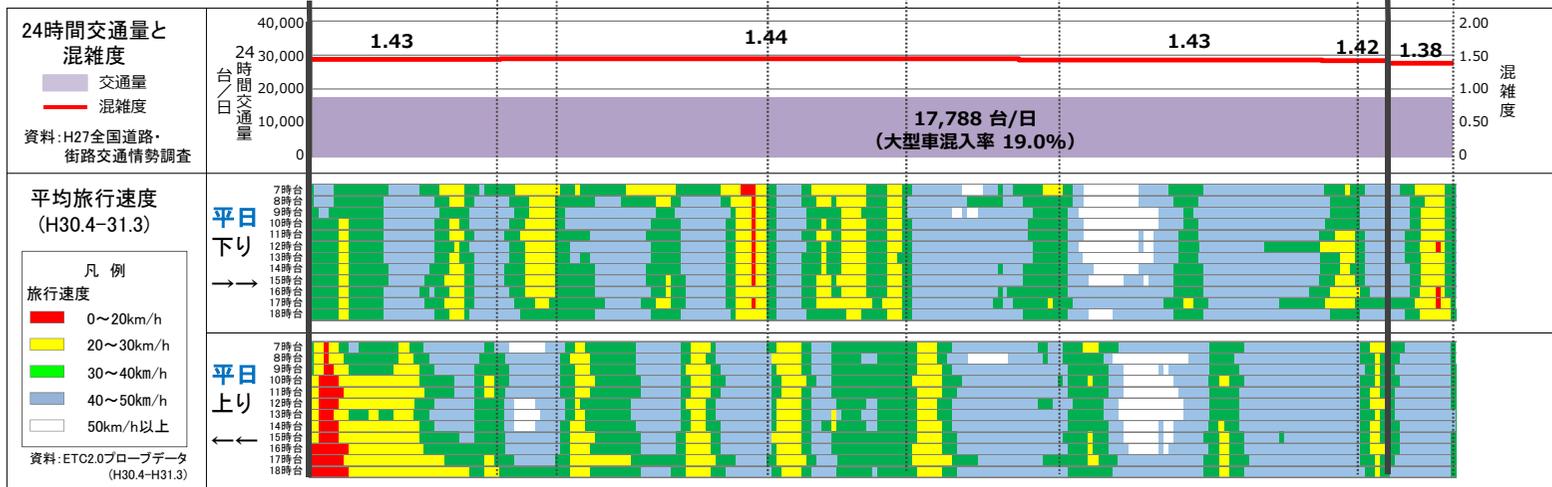
中野谷中央交差点の混雑状況



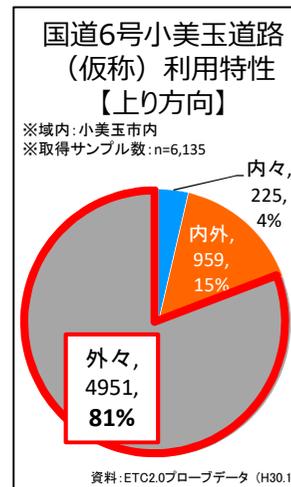
堅倉中央交差点の混雑状況



■交通量と時間毎旅行速度図



■道路利用特性



4. 道路の現状と課題～事故～

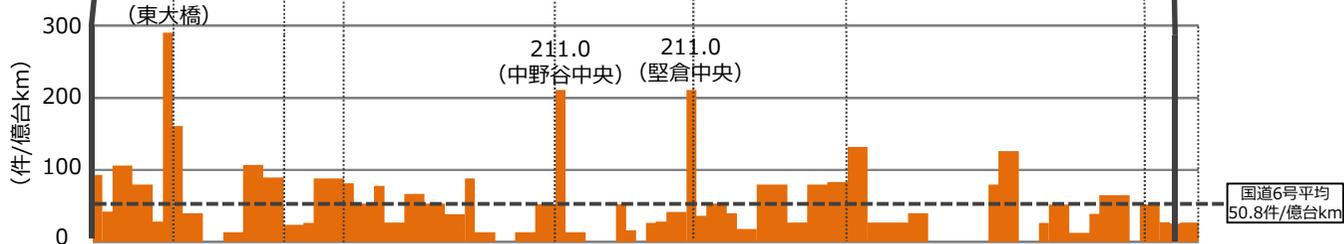
令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

- 対象区間は速度低下に起因すると考えられる追突事故割合が約8割を占めており、安全性に課題。
- 中野谷中央交差点、堅倉中央交差点の2か所で死傷事故率が200件/億台km以上となるなど、事故の多い交差点が存在。

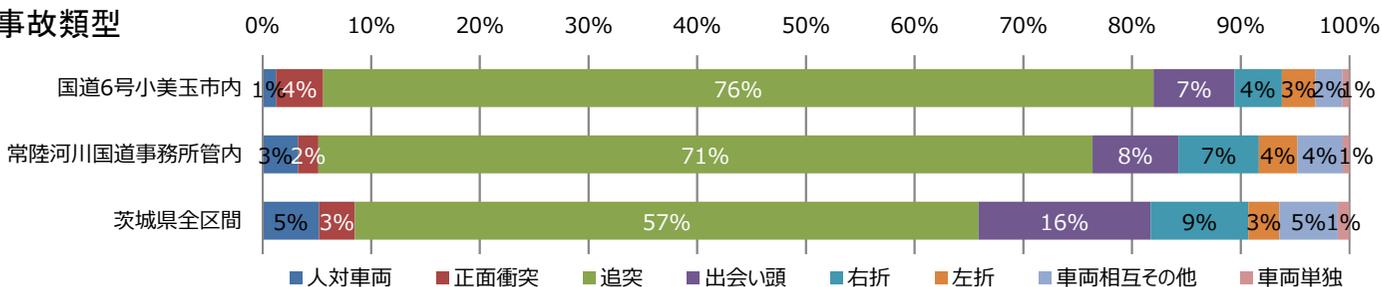
■位置図



■死傷事故率

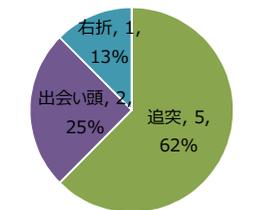


■事故類型



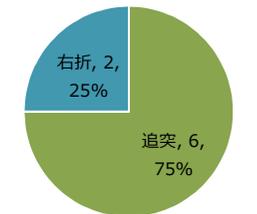
死傷事故率が高い交差点の事故類型

【中野谷中央交差点】



N=8件/4年

【堅倉中央交差点】



N=8件/4年

4. 道路の現状と課題～医療連携～

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

6

- 救急医療体制のうち小美玉市がある石岡地域や鉾田地域には3次救急医療施設がなく、最寄の施設が茨城町(水戸医療センター)や小児救急では土浦市(土浦協同病院)となっている。
- 小美玉市周辺の南北軸の幹線は国道6号に依存しているが2車線区間で速達性に劣っているため、一部地域は3次救急医療施設から30分以上離れている状況で救急時に制約が発生している。

■茨城県内の3次救急医療施設



出典：茨城県救急医療体制図(茨城県HP)

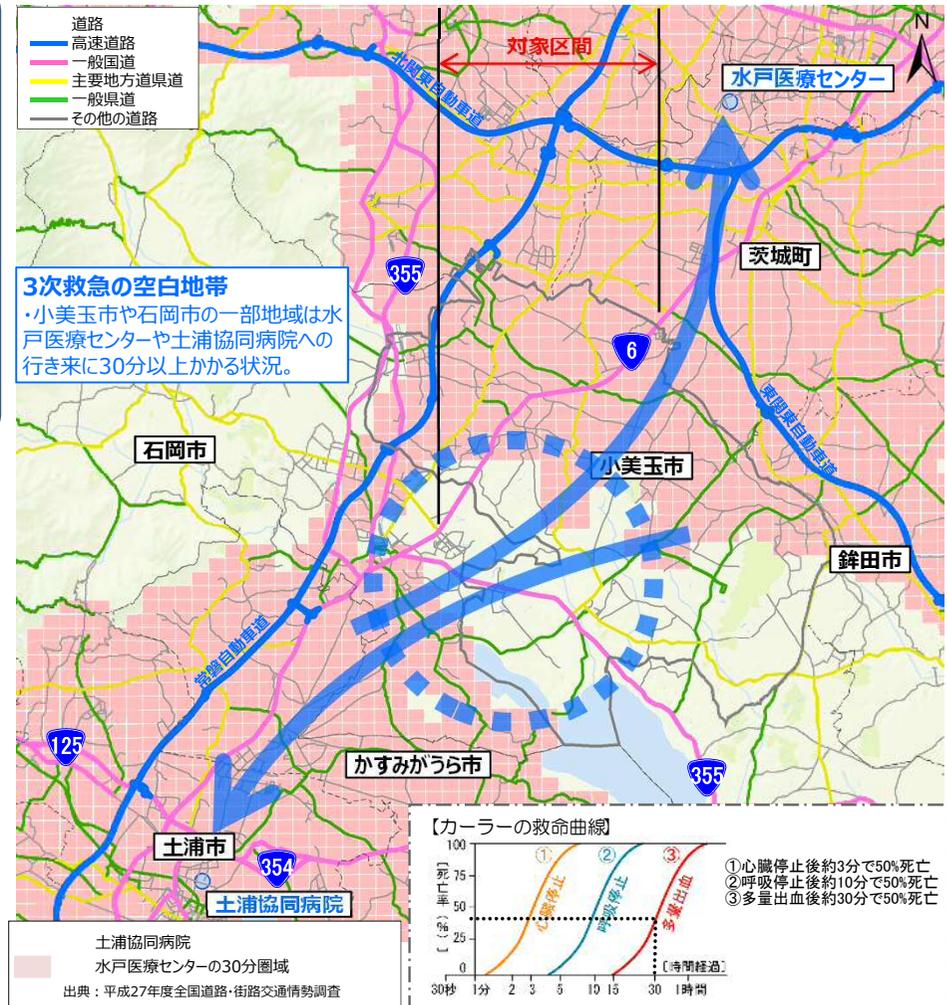
水戸医療センター

茨城町に位置している病床数500床の3次救急医療施設。地域支援病院、がん診療連携拠点病院、研修指定病院、救命救急センター、茨城県ドクターヘリ基地病院に加え茨城県の基幹災害拠点病院の指定をうけ地域医療に貢献している。

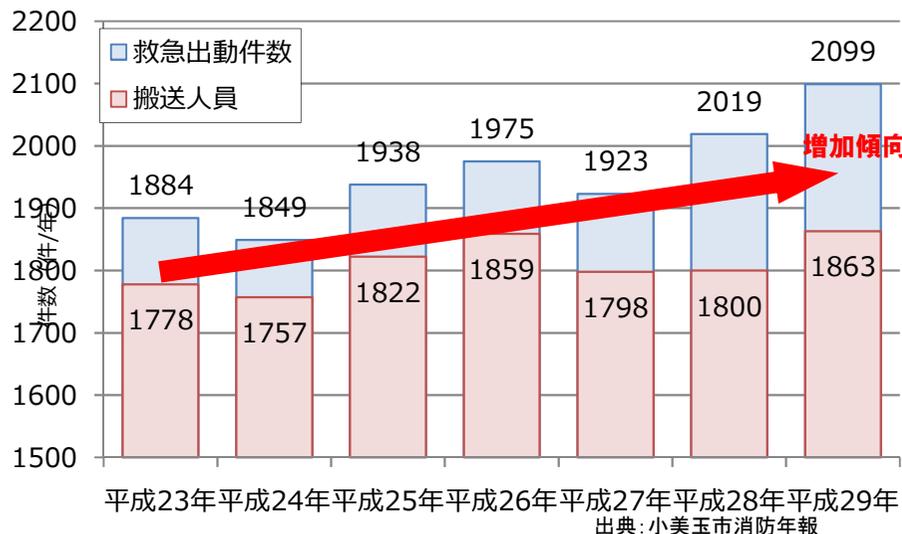
土浦協同病院

土浦市に位置している病床数800床の県内最大規模の3次救急医療施設。小美玉市、石岡市、かすみがうら市、行方市、鉾田市を含む土浦広域地域の小児救急の拠点病院となっている。

■小美玉市周辺の3次救急医療施設、小児救急医療施設



■小美玉市の救急搬送数の推移



4. 道路の現状と課題～防災～

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

7

- 国道6号は、災害時に常磐自動車道と連携し、緊急輸送道路として南北方面の行き来を担うと同時に、緊急物資の輸送拠点となる茨城空港へのアクセスも担う。
- 常磐自動車道は東日本大震災時には通行止めを余儀なくされた実績もあり、今後の被災時においても南北方面の行き来が幹線機能の劣る2車線区間である当該区間に集中した際に、道路の混雑が円滑な防災活動や物資の搬送の妨げになるおそれがある。

八方向作戦

首都直下地震発生の際には、都心に向けた八方向（八方位）毎に優先啓開ルートを設定し、一斉に道路啓開を進行（八方向作戦）。高速道路、国道、都道の被災箇所・規模が比較的小さい路線・区間を交互に組み合わせることで優先啓開ルートを設定し、現地状況に応じて柔軟に対応しつつ、上下線各1車線の道路啓開を実施。人命救助の72時間の壁を意識し、発災後48時間以内に各方向最低1ルートは道路啓開を完了することを目標。

出典：国土交通省関東地方整備局HP



■小美玉市周辺の緊急輸送道路



東日本大震災時の被災状況

東日本震災時当初、県内の高速道路はすべて通行止めとなった。茨城県内の常磐自動車道の損傷は谷和原 I C～谷田部 I C で路面段差が1カ所、土浦北 I C～いわき勿来 I C で路面のクラック23カ所、ジョイント部段差2箇所、路面陥没2箇所、路面段差9カ所、道路本体・路面の崩落1カ所

○ 常磐自動車道岩間 I C



○ 常磐自動車道水戸～那珂



出典：NEXCO東日本 (H23.3.18時点)

出典：茨城県HP

4. 道路の現状と課題～空港アクセス～

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

- 小美玉市には茨城空港が立地。茨城空港は年間76万人が利用しており、国内便の他、台湾、韓国、上海の国際定期便が就航し、国内、国外ともに利用者は増加傾向。
- 伸び続ける航空需要と不足する首都圏発着枠の受け皿として、茨城空港の機能強化が求められる中、空港利用上の課題として空港周辺の道路ネットワーク整備状況の悪さが指摘されるなど、空港アクセス強化が求められている。

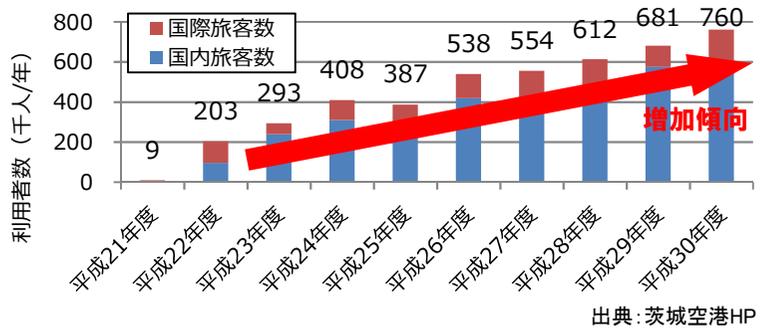
茨城空港 ※新型コロナウイルス感染症流行により、国内・国際便の全線が運航停止中

2019年度 ダイヤ 出典：茨城空港HP

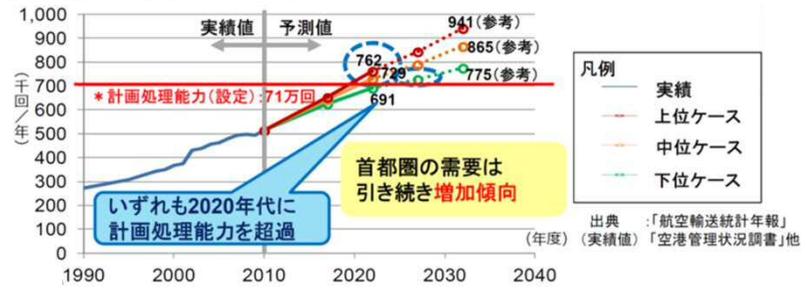
国内/国際	行先	便数(便/日)	運行日	航空会社
国内線	札幌	2	毎日	スカイマーク
	神戸	2	毎日	スカイマーク
	福岡	1	毎日	スカイマーク
	那覇	1	毎日	スカイマーク
国際線	上海	1	水曜以外	春秋航空
	ソウル	1	火木土運行	イースター航空
	台北	1	日木	タイガーエア台北



■茨城空港の旅客利用者数推移



■首都圏の発着数の需要



■茨城空港周辺の道路ネットワーク

茨城空港へのアクセス
県南エリアや県央エリアからの幹線ネットワークが形成されておらず、アクセス性が悪い状況。

対象区間

水戸方面からの利用が6割

土浦方面からの利用が4割

県内の物流における茨城空港の利用上の課題【空港周辺の道路ネットワークの整備状況】

整備状況	割合
悪い	32%
どちらかと言えば悪い	31%
どちらかと言えば良い	26%
良い	11%

空港周辺のネットワークの整備状況が悪い、どちらかと言えば悪いと回答している事業所が6割以上

資料：茨城県総合物流計画

※空港へのアクセス状況 出典：小美玉市

5. 課題と期待される効果の整理 (1)

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

10

		課 題	原 因	期待される効果等
交通	渋滞	<ul style="list-style-type: none"> ○対象区間は小美玉市街地を通過しており、交差点が連続している箇所も存在。 ○通過交通が多く流入しており、交通量は約17,800台/日で、混雑度は1.44と高く、堅倉中央では慢性的に速度が低下しており、中野谷中央では7時台で30km以下の速度低下が長い区間で発生。 	南北を行き来するための基幹道路が国道6号のみとなっているため、通過交通が多く2車線の容量を上回る交通量が流入。	<p>幹線道路の渋滞解消</p> <p>幹線道路の交通事故減少</p> <p>救急医療施設への搬送時間短縮</p> <p>災害時における機能・安全性の確保</p> <p>物流円滑性向上および空港アクセス強化による地域経済活動の促進</p>
	事故	<ul style="list-style-type: none"> ○対象区間は速度低下に起因すると考えられる追突事故割合が約8割を占めており、安全性に課題。 ○中野谷中央交差点、堅倉中央交差点の2か所で死傷事故率が200件/億台km以上となるなど、事故の多い交差点が存在。 	容量超過による速度低下により、ボトルネック交差点での追突事故が多発。	
	医療連携	<ul style="list-style-type: none"> ○救急医療体制のうち小美玉市がある石岡地域や鉾田地域には3次救急医療施設がなく、最寄の施設が茨城町（水戸医療センター）や小児救急では土浦市（土浦協同病院）となっている。 ○小美玉市周辺の南北軸の幹線は国道6号に依存しているが2車線区間で速達性に劣っているため、一部地域は3次救急医療施設から30分以上離れている状況で救急時に制約が発生している。 	近隣の3次救急医療施設への搬送経路となる基幹道路が国道6号のみとなっているが、2車線区間となっているため、速達性に劣る。	
	防災	<ul style="list-style-type: none"> ○国道6号は、災害時に常磐自動車道と連携し、緊急輸送道路として南北方面の行き来を担うと同時に、緊急物資の輸送拠点となる茨城空港へのアクセスも担う。 ○常磐自動車道は東日本大震災時には通行止めを余儀なくされた実績もあり、今後の被災時においても南北方面の行き来が幹線機能の劣る2車線区間である当該区間に集中した際に、道路の混雑が円滑な防災活動や物資の搬送の妨げになるおそれがある。 	4車線の幹線道路ネットワークが形成されていないため、常磐道の代替路や輸送拠点となる茨城空港への速達性・安定性の高いネットワークがない。	
社会・地域経済	物流	<ul style="list-style-type: none"> ○対象区間が位置する小美玉市は、農業産出額が茨城県内第2位であり、特に鶏卵が全国第1位、生乳が茨城県内第1位と畜産が盛んで、おもに首都圏が出荷先となっている。 ○小美玉市内発または着の物流を担う大型車は南は東京方面、北は水戸以北など長距離移動が多くを占めているが、当該区間は4車線化されておらず、交通渋滞により首都圏への円滑な物流を阻害 	4車線の幹線道路ネットワークが形成されていないため、2車線区間の容量超過による速度低下により、円滑な物流が阻害。	
	空港アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ○小美玉市には茨城空港が立地。茨城空港は年間76万人が利用しており、国内便の他、台湾、韓国、上海の国際定期便が就航し、国内、国外ともに利用者は増加傾向。 ○伸び続ける航空需要と不足する首都圏発着枠の受け皿として、茨城空港の機能強化が求められる中、空港利用上の課題として空港周辺の道路ネットワーク整備状況の悪さが指摘されるなど、空港アクセス強化が求められている。 	県南エリアや県央エリアからの4車線の幹線道路ネットワークが形成されていないため、2車線区間の容量超過による速度低下により、茨城空港へのアクセス性が悪い。	

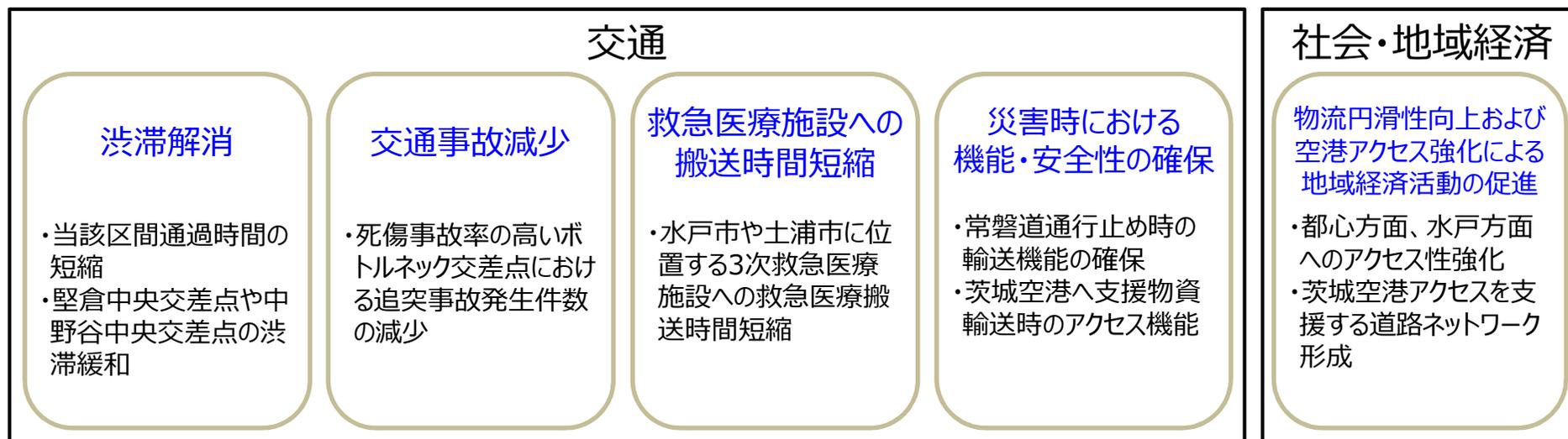
5. 課題と期待される効果の整理（2）

◇道路交通の課題を早期に解消していく必要がある

道路交通の状況と課題

地域の将来像

- ①幹線道路の渋滞解消
- ②幹線道路の交通事故減少
- ③救急医療施設への搬送時間短縮
- ④災害時における機能・安全性の確保
- ⑤物流円滑性向上および空港アクセス強化による地域経済活動の促進



道路交通の課題を解決する検討を促進

6. 地域への情報発信と意見聴取

令和2年7月14日
関東地方小委員会資料

12

◆県や沿線自治体などと連携し、地域へ情報発信を行い、コミュニケーション活動を実施する予定

■意見聴取の方法(案)

意向の把握(オープンハウス等の活用を想定)		
主な範囲	小美玉市、石岡市、茨城町	
チラシ	市町村役場	小美玉市、石岡市、茨城町
	公共施設等	美野里PA、空の駅「そ・ら・ら」、ひたち海浜公園等
Web	国のホームページにWebページを設け、県及び市のホームページにリンクバナーを掲載	

■ヒアリング調査による意見聴取の方法(案)

関連団体ヒアリング調査	
<ul style="list-style-type: none"> ○教育機関(沿線小・中学校) ○工業団地連絡協議会 ○トラック協会 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済団体 ○農業協同組合 ○消防本部 ○自治会 等

■地域への情報提供(案)

掲載型	配布型	オープンハウス
<ul style="list-style-type: none"> ○各自治体HP(国・県・市町村) ○回覧板 ○新聞広告 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポスター ○チラシ 	<p><予定実施場所> 竹原小学校、堅倉小学校 各体育館</p>

<オープンハウス実施場所>



7. 今後の進め方（案）

